

科 目		必・選	担 当 教 員	学 年 ・ 学 科			単位数	授 業 形 態					
現代の世界 ( Contemporary World)		必	赤崎 雄一	2 年 生 環境都市工学科			1	半期 週 2 時間					
授業概要		1. 日本を含めた近現代社会の動きについて学ぶ。											
到達目標		1. 現代史を手がかりにして、世界各地の社会・文化を理解することで、国際人として教養を身につける。(A-1)											
評価方法		年 4 回の定期試験   =95% 発表など               = 5%											
教科書等		『明解 世界史A』(帝国書院)、『明解世界史図説エスカリエ』(帝国書院) 毎回、プリントを配布する。											
内 容									学習・教育目標				
第 1 週	国際対立の激化								A				
第 2 週	第一次世界大戦とロシア革命								A				
第 3 週	ヴェルサイユ体制とアメリカの繁栄								A				
第 4 週	アジアの民族運動								A				
第 5 週	世界恐慌とファシズム								A				
第 6 週	第二次世界大戦								A				
第 7 週	経済不況と日中戦争								A				
第 8 週	大東亜共栄圏とアジア・太平洋戦争								A				
第 9 週	東西冷戦								A				
第 1 0 週	アジア諸国の独立								A				
第 1 1 週	第三勢力と中東問題								A				
第 1 2 週	ゆらぐアメリカ								A				
第 1 3 週	冷戦の終結と変わる社会主義								A				
第 1 4 週	グローバル化する世界								A				
第 1 5 週	アジアの成長と民主化								A				
第 1 6 週													
第 1 7 週													
第 1 8 週													
第 1 9 週													
第 2 0 週													
第 2 1 週													
第 2 2 週													
第 2 3 週													
第 2 4 週													
第 2 5 週													
第 2 6 週													
第 2 7 週													
第 2 8 週													
第 2 9 週													
第 3 0 週													
(特記事項)			JABEE との 関 連										
			JABEE	a	b	c	d1	d2a) d)	d2b) c)	e	f	g	h
			本校の学習 ・教育目標	A	A	C-1	C-1	C-2	B	B	D	C-3	B
				○									

1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

2. 定期試験について、特に記載の無いものは、評価配分を均等とします。(【例】年4回定期試験を実施した場合の各定期試験の評価配分は、特に記載の無いものは、25%ずつとなります。)

# 「現代の世界」 ガイダンス

現代では世界の一体化がかつてないスピードで進み、民族問題、人口問題、環境問題など地球的規模の問題も深刻化しています。また、世界の一体化が深まるにつれ、さまざまな文化との出会いや交流の機会も増えています。

これらの問題の解決方向を見いだすために、私たちは人類の歴史から学ぶ必要があります。そのため1学年の時から「世界史」を学んできましたが、この時間では特に現代社会につながる世界と日本の動きについて学びます。

## 第一部 世界大戦がもたらしたもの

第1週	国際対立の激化	教p. 148
第2週	第一次世界大戦とロシア革命	教p. 150
第3週	ヴェルサイユ体制とアメリカの繁栄	教p. 154
第4週	アジアの民族運動	教p. 160
第5週	世界恐慌とファシズム	教p. 164
第6週	第二次世界大戦	教p. 172
第7週	経済不況と日中戦争	教p. 170
第8週	大東亜共栄圏とアジア・太平洋戦争	教p. 174

## 第二部 戦後の世界と現在までの動き

第9週	東西冷戦	教p. 176
第10週	アジア諸国の独立	教p. 180
第11週	第三勢力と中東問題	教p. 182
第12週	ゆらぐアメリカ	教p. 186
第13週	冷戦の終結と変わる社会主義	教p. 190
第14週	グローバル化する世界	教p. 192
第15週	アジアの成長と民主化	教p. 196